

飲食店等の店舗向けに提案

多業種向けの待ち状況管理システム

(株)ジオクラウド(今治市上徳、佐伯知昭社長)は5月、多業種向けの待ち状況管理システム「GE Online Zero」を発売する。店舗の混雑時に発生する、来店者の待ち時間ストレスの軽減を図るもので、飲食店や携帯ショップ等での利用を見込んでいる。

同社は昨年設立のシステム開発会社。今年2月に発売した医療機関向けの待ち状況表示システムのノウハウを活かし、今回、多業種向けの商品開発を行った。

店舗内に設置する専用タッチパネルモニター(15・6インチ、右写真)に、順番待ちをしている来店者の待ち人数と予想待ち時間を行列形式で表示。個々の予想待ち時間は過去の順番待ちのデータ等を元に自動算出され、利用する毎に精度が高まる仕組みとなっている。

来店者はモニターの受付ボタンを押すのみで、飲食店の場合ではテーブルやカウンター、座敷など、項目別に色を変え表示され、利用者はモニターを通して簡単に待ち



佐伯知昭社長

状況を確認することができる。

また、モバイル端末でも待ち状況を閲覧することができ、受付登録の他、案内時間が近くとメールで通知する機能も持つ。専用モニターとQRコード等を印字するレシ

ートプリンターを標準装備。5月31日まで発売記念キャンペーンを実施し、期間中は30店舗限定で、初期導入費用¥35万円(通常価格65万円)、月額利用料¥6ヵ月間無料(同月額1万5千円)で提供する。問合せは●0120-4011-4110まで。

松山でセミナー開催

一方、同社は新商品の発売に合わせ、5月18日に松山市総合コミユニティセンター第8会議室でセ

ミナーを開催する。内容は同システムを導入した待ち時間ストレスを軽減するソリューションの提案。時間は14時、15時半、17時からの計3回で、時間は約1時間。